

## 平成24年度第2回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成24年8月7日（火） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 〈参加者〉 宇都宮中央女子高等学校JRC部の生徒 6名  
〈市側〉 市長

### ● 主な内容（抜粋）

#### 《タバコのポイ捨てなどについて》

市長： オリオン通りの清掃活動に参加されているそうですが、清掃をされていてどうですか。

生徒： オリオン通りの裏通りは結構ごみが多いですが、商店街の方々がきれいに掃き掃除をしてくださる姿を見かけますし、以前はタバコの吸殻がたくさん捨てられていましたが、最近は少なくなってきたと感じます。

市長： タバコ等のポイ捨てがなくなるよう、市で条例を作った効果かもしれません。今までは、信号待ちをしている間にタバコを吸い、ポイ捨てした人が多かったようです。

#### 《公共交通について》

市長： 100年くらい昔の話ですが、今のJR東北本線は宇都宮を通らずに上野駅から栃木市や大田原市を通る予定でした。宇都宮市を通らなかったら、宇都宮市はここまで発展せず、栃木市にあった県庁も宇都宮市に置かれることはなかったかもしれません。

生徒： 上河内地域在住の友人が、「上河内地域は交通手段が少なく、学校のホームルームが長引くとバスを乗り過ごしてしまい、次のバスが来るまでかなり待つことになってしまう。」と言っていました。もっと公共交通を充実する必要があるのではないのでしょうか。

市長： 宇都宮には公共交通空白地域と呼ばれるバスの停留所や路線がないなど公共交通が不便な環境に置かれているところもあります。

バス路線は赤字のところもあり、これ以上路線が廃止になると、公共交通の不便な地域が更に広がり、住民の皆さんも困ってしまいます。

赤字を解消するためにバス会社は運賃を上げる、運賃が高くなると利用客が減ってしまい、路線が廃止されてしまうという悪循環になります。

現在、宇都宮市は車に依存していると言っても過言ではありません。車を多く使うということは、それだけ二酸化炭素を排出しています。これは環境に良くないことです。車と公共交通が共存できるまちをつくっていきたいと思っています。

生徒：公共交通の乗り換えをすると、それだけお金もかかるので、なるべく乗り換えることなく1回であちこち行けるようになるといいのですが。

市長：確かに、乗り換えれば乗り換えるほどお金がかかります。様々な公共交通の支払いが1枚で出来るICカードや1日乗り放題券の発行、高齢者の割引など、低料金で公共交通を利用出来る工夫をしていきたいと思っています。

生徒：自転車に乗っていると、道路が狭いと感じます。歩道も狭いし、車道を走ると車からクラクションを鳴らされるので、肩身が狭いです。

市長：法律上、自転車は車道を走ることになっていますが、道幅が狭く危険なところがまだまだたくさんあります。比較的広い道路には、青い色の自転車専用レーンが設置されているところもありますが、自転車専用レーンがないところについては、道幅を広くする必要があります。しかし、道幅を広げるには、両脇の建物などを撤去しなければならない場所もあり、時間もお金もかかってしまいます。

生徒：道路を広くするほか、段差の解消もしてもらいたいです。また、通学路で、道が狭い上に電柱がせり出していて危険なところもあります。

市長：電柱は地中化する方法もありますが、電柱があることによって、バスなどの大きな車両が通行する際、危険を回避するという一面もあります。そうした場所は、将来、道路を整備する計画がありますので、いずれ安心して通れるようになると思います。

